

施設計画概要

商業・業務・交流施設を導入し、交通拠点機能を強化する施設計画

■計画趣旨説明

■集客力のある用途構成

A1棟は低層部に商業、高層部(3F~12F)を事務所とするテナントビル、A3棟は権利者用ビル、A2棟はホテルとホテルに付帯する商業スペースという構成になっています。

■利便性の高い権利者用ビル

A3棟は3階コンコースにて千葉駅西口自由通路と西口広場ペDESTリアンデッキと接続し、コンコースからA1棟及びA2棟にアクセスすることが可能であり、3棟の建物の要衝として機能するよう計画しています。

■統一感のある外観デザイン

規模・用途の異なる3棟の建物により構成されますが、3棟の建物をひとつの一体的な建物に見えるよう配慮を行いました。

横連窓の事務所棟(A1・A3棟)、外壁と正方形窓の連続するホテル等(A2棟)の外壁仕上を同一とすることはもちろん、事務所2棟の頂部スカイラインを斜めにするることにより、高さの違う3棟に統一感を与えています。

また、斜めのスカイラインは千葉駅の新しい玄関にふさわしい躍動感・軽快感を表現しています。



外観イメージスケッチ

■施設計画の概要

A1棟 保留床 (特定建築者)

- 建物用途 店舗・事務所・駐車場
- 構造・規模 S造、一部RC造
地下1階地上11階
- 延床面積 約11,000m²
- 駐車台数 約80台

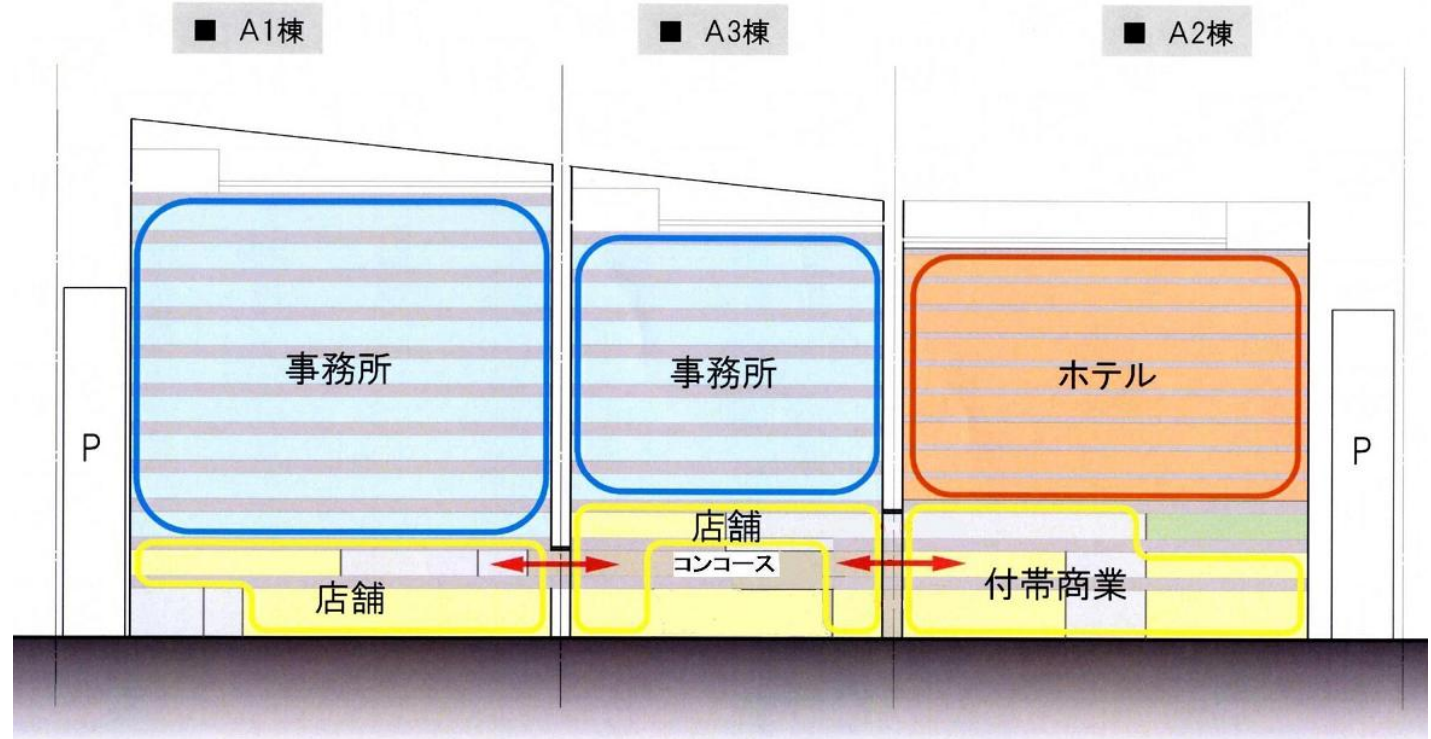
A3棟 権利床及び保留床 (施行者)

- 建物用途 店舗・事務所
- 構造・規模 SRC造、一部S造
地上11階
- 延床面積 約5,700m²

A2棟 保留床 (特定建築者)

- 建物用途 店舗・ホテル・駐車場
- 構造・規模 S造、一部RC造
地下1階地上13階
- 延床面積 約9,800m²
- 客室数 200室
- 駐車台数 40台

※高さ・面積等については、今後の実施設計により変更になります。



断面構成図